

1万人のエコチェック事業

事業概要

県内約1万人の公衆衛生推進委員を対象に、脱温暖化のまちづくりを実現していくための第一歩として、家庭で消費されるエネルギーの削減運動を展開する事業である。

具体的には、強化月間と定めた9月の1ヵ月間、家庭において電気・ガス等の省エネに取り組み、前年同月との使用量を比較してその効果をエコチェックカードに記入し、「見える化」を行うものである。さらには、より多くの推進委員の参加・実践を促すための動機づけとして、記入したエコチェックカードを、広島県公衆衛生大会の「エコチェック事業おたのしみ抽選会」にて抽選券として活用し、さまざまな景品が獲得できるしくみを作って事業を展開した。



●エコチェックカードおもて(左)、うら(右)

事業の流れ

- 4月27日(火) 事務担当者会議(1万人のエコチェック事業実施要領配布)
- 7月30日(金) 申請〆切
(8月初旬) エコチェックカードと記載マニュアルを郵送にて配布
- (8月~9月) 各家庭で省エネを実践(電気・ガスの **9月分検針票**を確認)
- (9月 下旬) エコチェックカードに電気・ガスの使用量、省エネ実践項目を記入
- 10月22日(金) エコチェックカードを各公衛協に提出〆切
- (10月 下旬) エコチェックカードを回収し、集計を実施
- 10月29日(金) 実施報告書を提出〆切
- 11月9日(火) 第51回 広島県公衆衛生大会にエコチェックカードを持参
(1万人のエコチェック事業おたのしみ抽選会の実施)

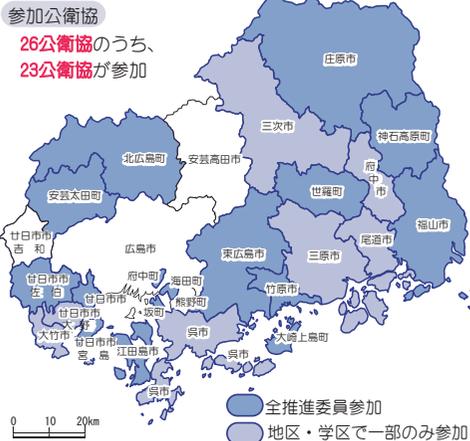
エコチェックカード記入マニュアル

エコチェックカードの記入方法について分かりやすく解説したマニュアルを配布。使用量のお知らせの見方や省エネ実践項目などを記載している。
(A3見開きサイズ)



平成22年度の実績

申請人数・実践人数
広島県内公衆衛生推進委員(広島市除く) **9,632人**のうち、
申請者数: **5,737人 (参加率: 59.6%)**
実践者数: **2,262人 (実践率: 23.5%)**



(注)実践推進委員数...エコチェックカードを提出した人数

市町公衛協名	全推進委員数 ①	実践推進委員数②	実践率 (%) ②/①×100
府中町	105人	72人	69%
海田町	91人	49人	54%
熊野町	31人	0人	—
坂町	20人	16人	80%
江田島市	159人	50人	31%
竹原市	84人	21人	25%
大崎上島町	58人	23人	40%
大竹市	70人	12人	17%
廿日市市	285人	161人	56%
廿日市市大野	656人	122人	19%
廿日市市佐伯	21人	7人	33%
廿日市市吉和	23人	0人	—
廿日市市宮島	43人	16人	37%
安芸太田町	48人	18人	38%
北広島町	418人	185人	44%
安芸高田市	300人	0人	—
東広島市	1,000人	177人	18%
三原市	400人	36人	9%
世羅町	483人	64人	13%
尾道市	422人	96人	23%
福山市	1,160人	709人	61%
府中市	615人	129人	21%
神石高原町	31人	16人	52%
三次市	488人	16人	3%
庄原市	633人	168人	27%
呉市	1,988人	99人	5%
合計	9,632人	2,262人	23.5%

平成22年度の実績

●エコチェック事業集計報告

各公衛協実績報告より集計

【電気】

【総計】			【1世帯あたり平均】		
今年(9月分)使用量	前年同月使用量	増減量	参加世帯数	今年9月分平均使用量	平均増減量
1,208,824 kWh	1,051,987 kWh	+156,837 kWh	2,116世帯	約570 kWh	約75kWh↑(増)

【都市ガス】

【総計】			【1世帯あたり平均】		
今年(9月分)使用量	前年同月使用量	増減量	参加世帯数	今年9月分平均使用量	平均増減量
12,470 m ³	13,060 m ³	-590 m ³	261世帯	約48 m ³	約2.26 m ³ ↓(減)

★活動を通して得た成果(参加者・事務局の声)

- 日々の生活の中で省エネに取り組むようになった。(坂町)
- 今年は猛暑のせいで、こまめに削減したつもりでも効果があまり見えなかった。(海田町・江田島市ほか)
- 電気使用量は結果として前年より増えたが、各家庭で省エネ意識をもつきっかけになった点は良かった。(廿日市市)
- 家庭の省エネ活動を実践するきっかけづくりができた。カードの回収がうまくできなかったことは反省点である。(神石高原町ほか)

★今後エコチェック事業の展開(事務局の声)

- 地球温暖化対策地域協議会と協働で町内に広めていきたい。(府中町)
- 市町単位でエコチェックの研修を行い、より正しく数値が出るように学んでいく必要がある。(東広島市)
- カード回収率を上げていきたい。(世羅町・江田島市など)
- 次は冬場にも実施したい。(大崎上島町)
- 他団体の同様な事業と協力して、楽しみながらできる事業にしたい。(廿日市市宮島)
- エコチェックは年に数回実施した方が、年間を通してエコに対する意識が変わってくると思う。(呉市) など

●おたのしみ抽選会



●当選した公衛協名を読み上げている様子

マツダスタジアム観戦チケット (10試合分 6人/試合)



★当選した公衛協★

- 府中町
- 廿日市市 (2)
- 廿日市市大野
- 廿日市市佐伯
- 廿日市市宮島
- 尾道市
- 福山市 (2)
- 府中市

三原市特選品詰め合わせ (30セット)



★当選した公衛協★

- 府中町
- 大崎上島町
- 廿日市市 (2)
- 廿日市市大野 (2)
- 北広島町 (5)
- 東広島市 (3)
- 尾道市
- 福山市 (10)
- 三次市神杉地区 (1)
- 庄原市
- 呉市 (3)

ワットチェッカー (10個)



★当選した公衛協★

- 竹原市
- 廿日市市
- 北広島町 (3)
- 福山市 (2)
- 府中市 (2)
- 尾道市
- 庄原市

成果

●参加者数・実践者数

26公衛協のうち23公衛協が参加。申請人数は5,737人と約6割の参加が得られたものの、実践者数(カード提出者数)は2,262人とどまった。

●参加者の声(実績報告書より)

猛暑の影響で削減できた家庭は少ないが、使用量を把握するいい機会となり、省エネ活動を推進できたなどの意見が多数寄せられた。脱温暖化のまちづくりに向け、一歩を踏み出した。

平成23年度に向けて

●回収率の向上

より多くの推進委員が参加できるよう案内していくとともに、削減効果が得られなかった世帯の未提出ケースが見られたため、まずは、使用量の増減にかかわらずカード回収率(実践率)を向上させる。

●周知方法

カードの配布・回収に時間と経費を要するため、申請後だけに送付するなど、配布・周知に時間的余裕をもたせる。